

第2回福井県教員育成協議会 概要

平成30年1月11日（木）

10:00～11:30

県庁2階中会議室

1 議事

(1) 福井県教員育成指標の基本的な考え方および指標（案）について

- ・資料1、資料2に関する事務局説明

〈主な意見〉

- ・（委員）教員は今後、より専門職化、高度化が求められていく。生涯にわたって成長していく教員をどうやって支えていくかが重要。全国に先駆けて免許状更新講習を悉皆の研修体系に位置づけたことを評価したい。現職教員の教職大学院の研修においても、指標と関連づけていかなければならない。

(2) 福井県教員育成指標の活用について

- ・資料1、参考に関する事務局説明

〈主な意見〉

- ・（委員）現在の指標の文言は、小・中の義務の色が濃いと思われる。高校の教員がこれを見てどう考えるかという部分はあるが、具体的な中身はそれぞれの校種で考えることと受け止めている。将来、中身の具体はそれぞれの校種で考えていくとすればよい。
- ・（委員）指標が様々な場面でつながっていくことが重要。各学校が作るスクールプランの作成にも多くの教員が関わっている。自分を振り返る過程の中にスクールプランとともに、今回の指標も位置づけられるとよい。学校長も教員の面談の中で指標を活用し、成果を振り返ることができるような示し方をするとよい。
- ・（委員）指標と関連づけて次年度の研修計画を作成していく。先生方が研修を今年度に何をするか、という短期的な視点でしかみていない現状を改善して、自分のキャリアステージの中で研修の位置づけが見えるように改善していきたい。
- ・（委員）指標をどのように活用していくかを考えると、個々の教員の目標作成のところに生かしていくことが重要である。ステージごとに区切られているが、なかなかうまく進んでいかない教員がいたり、学校の構成メンバーによっては、リーダーの立場になれない50代もいたりする。どのように使っていくかは管理職が工夫をしないといけない。
- ・（委員）高校生の保護者の立場から教員を見てみると、夢のある教員を生徒は求めていると思う。指標を作成後は、教員の一人ひとりの活用のあり方を考えていくことが必要だと思う。

2 その他

- ・2月教育委員会で決定、研修、先生方に周知していく。なお指標については、大きな変更がある場合は協議会を開催、微調整は事務局で対応することとする。